

文化環境委員会要求資料

令和4年6月  
環境政策局

脱炭素先行地域の選定結果（第1回）について

別紙のとおり

事 務 連 絡  
令和 4 年 4 月 26 日

京都市長 殿

環境省大臣官房地域脱炭素事業推進調整官

脱炭素先行地域の選定結果（第 1 回）について

平素より環境行政に御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。

脱炭素先行地域の計画提案の内容及び実現可能性等について、専門的な見地から評価等を行う脱炭素先行地域評価委員会（以下「委員会」という。）の評価を基に選定を行った結果、誠に残念ではございますが、貴団体の今回の脱炭素先行地域への選定を見送らせていただくこととなりました。

委員会における主な意見は下記のとおりです。御参考にしていただき、今後の地域脱炭素に向けた取組に活かしていただければと存じます。

貴団体の更なる御発展を祈念し、選考結果のお知らせを申し上げます。

記

【委員会における主な意見】

- ・ 公有地を活用し市内で稀少な大規模開発が可能な土地を ZEH/ZEH-M 建設を条件として売却する姿勢については、脱炭素先地域を目指す市として評価。
- ・ 一方、ZEH や ZEH-M の導入規模等については、他の民間主導の宅地開発も踏まえ、先行地域としてのモデル性の観点からは不十分であり、既存住宅の ZEH 化等も含め検討を深めていただくことを期待。
- ・ 都市の特性を踏まえた寺院等の脱炭素化については、モデル性は評価できるが、対象施設数や追加的再エネ導入量の拡大について検討を深めていただくことを期待。